

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

会員挨拶



七尾市長 武元文平

皆さん、こんにちは。ご紹介をいただきました七尾市長の武元でございます。

今日は、日本海にぎわい・交流海道ネットワークということで、このような盛大な講演会が開催されました。まずもってご盛会をお喜びを申し上げたいと思います。

そしてまた、お世話をいただきました輪島市の皆様方にもお礼を申し上げたいと思っています。

さて、こういった形で発言をさせていただく機会をいただいたわけでございますけれども、私ども七尾市は明治32年に開港いたしまして、今年がちょうど110周年という記念すべき年になるわけでございます。そのような意味でも港を生かして、さらに町のにぎわい、地域の活性化、七尾、能登の活性化に力を入れていかなければならないと、そういう思いを新たにしているわけでございます。そのような意味で、この講演会、総会も大変ありがたい思いでございます。

さて、七尾市は、先ほど申し上げましたように、古くから港とともに発展してきた町であります、特に最近、海をもう少し生かさなければならぬという形の中で、いろんな取り組みをさせていただいております。

とりわけ、にぎわいということに関しまして、私どもには平成3年にオープンいたしました七尾フィッシャーマンズワーフ能登食祭市場がございます。これは本当に、市民活動の中から出てきたものでございますが、おかげさまで七尾の観光拠点のみならず、能登へ訪れるお客さまの観光拠点としても大きな役割を果たしていると思っております。

そしてまた、一昨年、平成19年の3月、みなとオアシスという形の指定もいただいたこともありまして、ことしの入館者、18年目になるわけでございますけれども、この1月で1,500万人を達成することができました。大変うれしく思っております。年間約80万人のお客さまをお迎えしておるわけでございますが、まさにこの海を生かしたにぎわい空間、にぎわい施設としての大きな役割を果たしているわけでございます。

加えまして、東海北陸自動車道の全線開通、そしてまた高速道路料金の1,000円という、そういっ

たこともございまして、本当に最近では中京圏のみならず、多くの県外のお客様が来ているということで大変うれしく思っております。加えまして、これからまた能越自動車道が開通することになれば、これもまた私ども七尾のみならず、能登観光に大きな役割を果たしてくれるものだと、そういう期待をいたしております。

いずれにいたしましても、私どもはこの食祭市場でありますフィッシャーマンズワーフを拠点にいたしまして、港の周辺の活用を考えているところでございます。これまでも旅客船のクルーズが私どもの矢田新埠頭に入っております。特に、矢田新埠頭につきましては、今耐震強化岸壁の整備を進めていただいているわけですが、暫定供用ではございますけれども、昨年も日本の帆船、日本丸が寄港いたしまして、また今年もこの8月に日本丸が寄港することになっておるわけございまして、フィッシャーマンズワーフから矢田新にかけての一带を、さらに親水空間といいますか、多くの方々に憩っていただくような、そういう空間にしていきたいという形で進めております。

これも、今県の事業もいただきまして、プロムナード（ボードウォーク）を整備いたしているところでございます。

そしてまた、この地域一帯は七尾の港まつりでありますとか、あるいは花火大会でありますとか、いろんなイベントの会場にもなっておるわけですが、先般も港まつりに続きまして、このフィッシャーマンズのマリンパークには、モンレージャズフェスティバルも非常に盛大に開催することができました。

こういったことで、港と七尾のにぎわい町づくり、そういったものが一体として進んでおるということで大変うれしく思っております。これからも、この港、港湾を生かして町のにぎわいと観光拠点としての役割をこれまで以上に進めてまいりたい、このような思いでございます。そのような意味でも、本日のこのようににぎわい・交流海道ネットワーク、本当に各地域、港湾が連携をしながら日本海側の交流活動がより活発になることを心からご祈念を申し上げまして、私の近況報告とさせていただきます。

本日はどうもおめでとうございます。ありがとうございました。